

2018年3月9日

慶應義塾大学先端生命科学研究所
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

先端科学技術分野における包括連携協定締結 および「損保ジャパン日本興亜ビジネスラボ鶴岡」新設のお知らせ

慶應義塾大学先端生命科学研究所（所長：富田 勝、以下「先端研」）と損害保険ジャパン日本興亜株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、先端科学技術を活用して社会課題の解決を図り、地域・社会への貢献に寄与することを目的とした包括連携協定を締結しました。

これに伴い、損保ジャパン日本興亜は、先端研キャンパスセンター（山形県鶴岡市）内に「損保ジャパン日本興亜ビジネスラボ鶴岡」を新設し、アカデミア、ビジネス、ローカルの融合を図ることで、一体となって本目的の達成に取り組んでまいります。

1. 背景と目的

- ・先端研は、2001年4月、鶴岡タウンキャンパスに設置された本格的なバイオ研究所です。最先端のバイオテクノロジーを用いて生体や微生物の細胞活動を網羅的に計測・分析し、コンピュータで解析・シミュレーションを行い、医療、環境、食品などの分野に応用しています。先端研は、このようにITを駆使した「統合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパイオニアとして、世界から注目されています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、科学技術の進展による産業構造の変革に自ら参画し、日本発で世界に展開していく先端科学技術の発掘、調査、実証実験を行ってまいります。さらに、「安心・安全・健康」に資する新商品開発・新事業創出などを通じ、社会課題の解決および事業拡大を目指しています。
- ・両者における共同研究を成し遂げるための人づくりをベースに、先端研の統合システムバイオロジーと損保ジャパン日本興亜およびグループ各社の事業やサービスを融合させることで、健康寿命延伸などの社会課題の解決を図るとともに、地域・社会への貢献に寄与するものと判断し、合意したものです。

2. 主な取組内容

- (1) 先端研キャンパスセンター内に「損保ジャパン日本興亜ビジネスラボ鶴岡」を設置、先端科学技術を活用した社会課題の解決に向けた調査・研究および社会実装の推進
- (2) 革新的な人づくりのための両者の相互理解および連携強化

3. 今後について

両者は、今回の包括連携協定を機に、先端科学技術の研究を広く社会に還元するとともに、地域社会の発展および活性化により、持続可能な社会への貢献を目指します。

<協定書調印式の様子 2018年3月8日>



(左)慶應義塾大学先端生命科学研究所 (右)損害保険ジャパン日本興亜株式会社
所長 富田 勝 代表取締役社長 西澤 敬二

以上